

事務事業名	施設管理事務（山前分館分）				担当	教育委員会 生涯学習課 山前分館		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名			
施策名	1	生涯学習の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和56 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠								
予算科目	1. 一般会計	6. 農林水産業費	1 農業費	7 改善センター				
事業概要	山前分館（山前農村環境改善センター）は市民の生涯学習施設として、講座、学習、研修、集会の場として活用されており、年間18,000人程度の利用がなされている。施設は市が直接管理しており、貸館、設備の保守点検等をシルバー人材センターや民間の専門業者に委託している。 委託内容：貸館、除草等の敷地管理、施設の清掃業務、消防設備の保守点検、冷暖房施設の保守、電気保安業務、ごみ収集等 施設概要：改善センター本館696平方メートル、多目的ホール695平方メートル、敷地面積14,027平方メートル 施設の耐震補強・改修：平成28年度に実施。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 貸館、ごみ処理、清掃、施設の保守管理等をシルバー人材センター及び民間業者に委託した。 30年度計画 29年度と同様に貸館、ごみ処理、清掃、施設の保守管理等をシルバー人材センター及び民間業者に委託する。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	委託件数	件	14	17	17	12	12
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 山前分館の施設、設備	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	本館面積	?	696	696	696	696	696
	イ	多目的ホール面積	?	695	695	695	695	695
	ウ							
	エ							
	オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 安全快適な生涯学習の場を提供する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	本館利用者数	人	11,852	14,265	13,801	14,592	14,800
	イ	多目的ホール利用者数	人	6,388	5,029	4,275	6,387	6,500
	ウ							
	エ							
	オ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 安全快適な生涯学習の場を提供することにより、生涯学習の推進を図る。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	本館利用者/市民数	%	14.69	17.70	17.37	18.07	18.33
	イ	多目的ホール利用者/市民数	%	7.92	6.24	5.38	7.91	8.05
	ウ							
	エ							
	オ							

(2) 総事業費の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	3,981	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	7,100	0	0
		その他	千円	364	357	59,512	475	360
	一般財源	千円	11,995	16,268	14,850	12,681	13,515	
	事業費計(A)	千円	12,359	16,625	85,443	13,156	13,875	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	200	200	200	200	200
		人件費計(B)	千円	844	838	831	830	830
トータルコスト(A)+(B)		千円	13,203	17,463	86,274	13,986	14,705	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	山前農村環境改善センターの開設に伴い、市民の生涯学習活動並びに農村生活の環境改善を図るための場を提供するために施設の運営と維持管理を開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	建設から35年経過しており、施設の老朽化等により修繕箇所が増加している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	利用者より、施設・備品の老朽化が進んでいるため改善要望がある。